

「鷲見氏・鷲見郷一覽」出版 記念シンポジウム開催される

令和5年7月8日、高鷲文化財保護協会管轄下の鷲見氏・鷲見郷記念事業実行委員会主催の「鷲見氏・鷲見郷一覽」出版記念シンポジウムが高鷲町民センターホールで開催された。開催にあたって何回も実行委員会を開き、綿密な打ち合わせを行い、開催のチラシを全戸に配布すると同時に市内の主立った機関にチラシを配布した。

その結果、当日は雨が強く降り、実行委員のメンバーは聴衆は少ないだろうと予測していたが、12時30分から受け付けを開始すると、高鷲町民はもちろんの事、日置郡上市長、川辺岐阜県文化財保護協会局事務局長、島野高鷲振興事務所長など高鷲町以外から多数の方々が来場され、町民センターホールがほぼ満席になる状況であった。

13時30分に開式の挨拶があり、次いで西脇清美高鷲文化財保護協会長の挨拶があった。西脇会長は、「鷲見氏・鷲見郷一覽」作成に三年間を要し、郷土の事、鷲見氏・鷲見郷の研究の道標になるために編集し、多くの方々の協力で刊行する事が出来ました」と御礼を含め謝意を表されました。次に「鷲見家史蹟」の現代語訳をされた若原益子氏の長男でその編集に当たられた横浜在住の若原俊彦氏にご挨拶をいただいた。

挨拶の後、鷲退治のアニメが上映され、「鷲見氏・鷲見郷」シンポジウムに入った。



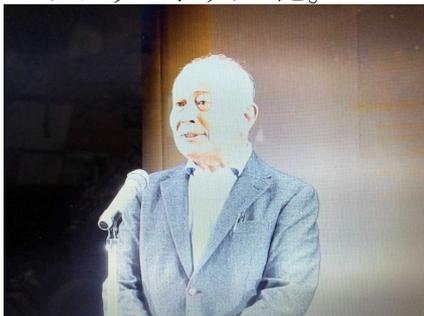
鷲見氏・鷲見郷一覽
「出版記念シンポジウム」
入場無料

鷲伝説の
謎に迫る！

2023年
7月8日(土) 13:30—
郡上市たかす町民センター(ホール)

- 12:30 開場
- 13:30 開会
- 13:45 鷲伝説アニメ上映
- 14:00 パネルディスカッション
「鷲見氏・鷲見郷の歴史について」
●コーディネーター：平井道則
●パネラー：馬淵旻修・鷲見尚武・上村文隆
- 15:30 閉会

主催：鷲見氏・鷲見郷記念事業実行委員会 お問合せ：Tel.0575-72-6321 [郡上市たかす町民センター]



西脇会長

シンポジウムは、平井道則氏のコーディネータとし、岐阜県文化財保護協会長の馬淵旻修氏、鷲見家三一代子孫の鷲見尚武氏、鷲見家菩提寺の長善寺住職の上村文隆氏の3人がパネリストとして行われた。ここで3人のパネラーの基調講演の要旨を紹介しよう。

最初の馬淵旻修氏は、地名の観点から発表され、「地名は私たちが特定の場所や地域について抱いていた感慨であるから、鷲見大鑑に記載されている地名、例えば二声や羽落などは地域の人々の伝承が地名になったものである。さらに鷲見の立石の呼び方を地元での呼び方を尊ぶ」括られた。

鷺見尚武氏は、代々鷺見家に伝わる穴洞白山神社累縁記や斉藤利政（道三）書状、天文年間の鷺見氏宛の書状など所蔵している古文書の解説をされた。

上村文隆氏は、長善寺は鷺見家の菩提寺であり、多くの古文書が残っており、その中で「鷺見家軍忠状」などを説明された。

その後、コーディネータと会場から質問があり、その主なものを紹介しよう。

- ①向鷺見の白山神社を藤藁頼保が寄進したというのは本当か？
- ②鷺見城の築城はいつ頃か？
- ③長滝寺の白山奉賛の古文書にある藤原朝臣は誰か？
- ④芥見左小弁はだれか？
- ⑤穴洞の鷺見忠左衛門というのはどのような人物か？
- ⑥鷺見氏は鷺見郷と芥見、北野をネットワークさせて治めたと思うがどうか？

するなど

これらの質問に対してパネラーから丁寧な答えがあり、ここでは省略するが、聴衆の皆さんは理解されたようだ。



平井道則氏



馬淵旻修氏



鷺見尚武氏



上村文隆氏

シンポジウムは予定通り 15 時 30 分の終わり、解散となった。参加された聴衆の皆さんは、「このシンポジウム開催は大変わかりやすく、内容も充実していた」口々に感想を述べ合いながら家路へと向かわれた。お疲れ様でした。

17 時から鷺ヶ岳のレインボーホテルで資料提供者と本事業協賛者と実行委員会のメンバーとが「鷺見氏・鷺見郷一覧」記念出版パーティーが行われた。

「会員の皆さん、ご協力有難うございました。」